

みずほマーケット・トピック(2019 年 11 月 8 日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

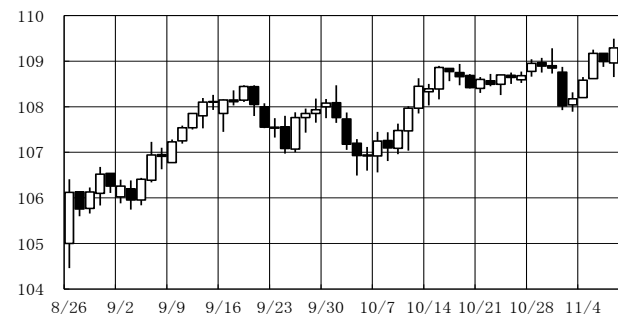
1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場はドル高の展開。週初 4 日に 108 円台前半でオープンしたドル/円は、東京休場の中、動意に乏しい推移が続いたが、ロス米商務長官が米中通商会議に対し楽観的な見方を示すとじり高の展開となり、その後、米国株式市場と米金利の上昇もあいまって、一時 108 円台半ばをつけた。5 日は米国が対中関税を一部撤回する可能性があるとの報道を受け堅調な推移が続き、米 10 月 ISM 非製造業景況指数の予想を上回る結果が好感され、109 円台前半まで上昇した。6 日は、本邦実需の売りに 109 円付近まで下落する中、米中協議に関し、両首脳の合意署名が 12 月までずれ込む可能性があるとの報道を受け 108 円台後半まで下落すると、その後も上値の重い推移が続いた。7 日は、米中協議への警戒ムードからリスクオンの地合いが強く、じり安の展開が続いたが、中国商務省が米国との追加関税の段階的撤廃に合意したとの報道を受けて 109 円を上抜けると、中国が米国産鶏肉の輸入制限撤廃を検討との続報にドル/円の上昇が続いた。加えて、米国株式市場が最高値を更新したこと、米金利の上昇も追い風となり、一時、今年 8 月以来の高値を更新する 109.49 円を記録し、その後一旦ドル売りが強まり反落した。本日は 109 円台前半で推移している。
- 今週のユーロ/ドル相場はドル高の展開。週初 28 日に 1.10 台半ばでオープンしたユーロ/ドルは、米中通商協議を巡る前向きな報道と、米金利上昇を受けてじり安の展開が進み、1.11 台前半まで下落した。6 日は、米国による対中関税の一部撤回の可能性があるとの報道を受け、ドル高の展開が続き 1.11 を割り込むと、米 10 月 ISM 非製造業景況指数の結果を受けて 1.10 台半ばまで値を下げた。6 日は、独 9 月製造業受注や、独サービス業 PMI が予想を上回る結果となり、1.11 付近まで上昇したが、株式市場が軟化する動きを受けたユーロ/円の売りに連れ安となり、1.10 台半ばまで反落した。7 日は、ドル売り優勢の中、米中間での追加関税の段階的撤廃合意の報道を受けてじり安の展開となり、米金利の上昇を受けたドル買いに一時週安値の 1.1036 をつけた。本日は 1.10 台半ばでの推移が続いている。

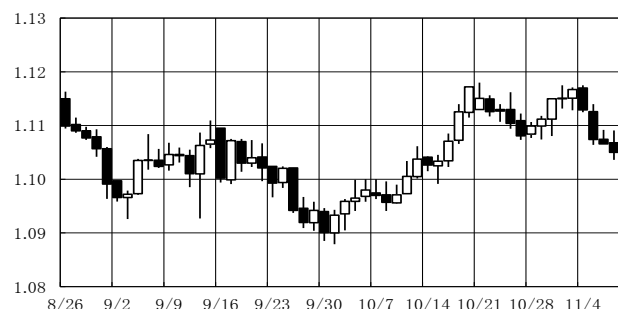
今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週				
		11/1(Fri)	11/4(Mon)	11/5(Tue)	11/6(Wed)	11/7(Thu)	
ドル/円	東京9:00	108.02	108.22	108.70	109.15	108.92	
	High	108.32	108.65	109.25	109.19	109.49	
	Low	107.89	108.19	108.57	108.81	108.65	
	NY 17:00	108.18	108.58	109.17	108.99	109.29	
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1156	1.1166	1.1128	1.1074	1.1070	
	High	1.1171	1.1175	1.1140	1.1093	1.1091	
	Low	1.1129	1.1125	1.1064	1.1065	1.1036	
	NY 17:00	1.1167	1.1129	1.1074	1.1066	1.1050	
ユーロ/円	東京9:00	120.51	120.80	120.97	120.85	120.56	
	High	120.94	121.10	121.30	120.90	121.11	
	Low	120.37	120.80	120.70	120.47	120.14	
	NY 17:00	120.76	120.83	120.88	120.61	120.80	
日経平均株価		22,850.77	-	23,251.99	23,303.82	23,330.32	
TOPIX		1,666.50	-	1,694.16	1,694.45	1,698.13	
NYダウ工業株30種平均		27,347.36	27,462.11	27,492.63	27,492.56	27,674.80	
NASDAQ		8,386.40	8,433.20	8,434.68	8,410.63	8,434.52	
日本10年債		-0.18%	-	-0.14%	-0.09%	-0.09%	
米国10年債		1.71%	1.78%	1.86%	1.83%	1.92%	
原油価格(WTI)		56.20	56.54	57.23	56.35	57.15	
金(NY)		1,511.40	1,511.10	1,483.70	1,493.10	1,466.40	

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- ・米国では、来週 13 日(水)に 10 月消費者物価指数(CPI)が発表される。前回の 9 月 CPI は前年同月比 +1.7%、前月比+0.0%となり、9 月コア CPI については、前年同月比+2.4%、前月比+0.1%であった。結果としては、共に市場予想を下回るものであったが、大きな要因は中古車価格が 1 年ぶりの下落幅を記録した点(前月比▲1.6%)や、衣料品価格の下落(同▲0.4%)であった。一方、コア CPI には含まれないが、エネルギー価格も低下傾向で(同▲1.4%)、全体の物価上昇率を押し下げた。また、米国のインフレターゲットの対象とされる米国の 9 月コア PCE(食料及びエネルギーを除く個人消費支出)デフレーター上昇率は、2018 年には前年比+2.0%の金融政策上の目標水準付近で推移していたが、2019 年に入り+2.0%の水準を下回っており、この点からも今年の世界的な景気減退の影響が伺える。以上の結果が一因となり、先月の FOMC 会合にて 9 月に続く追加利下げに踏み込んだとの見方もあるが、今回についても足元の景気減速感がどの程度払拭できているか(または続いているか)を見極める材料となるだろう。なお、市場予想では、CPI 上昇率を前月対比+0.3%と見込んでいる。このほか、14 日(木)には、10 月生産者物価指数(PPI)、15 日(金)には 10 月輸入・輸出物価指数の発表を控えている。金融政策関連では、今晚 8 日(金)にカプラン・ダラス連銀総裁や、ボスティック・アトランタ連銀総裁が講演の予定。11 日(月)はカシュカリ・ミネアポリス連銀総裁、ローセン・グレンボストン連銀総裁が講演する予定。また、13 日(水)にはカシュカリ・ミネアポリス連銀総裁やハーカー・フィラデルフィア連銀総裁のイベントへの参加が予定されている。このほか、14 日(木)にはパウエル FRB 議長やクラリダ FRB 副議長、カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁、エバンス・シカゴ連銀総裁が講演をする予定。

	本 邦	海 外
11 月 8 日(金)	・9 月毎月勤労統計 ・9 月景気動向指数(速報)	・米 11 月ミシガン大学消費者マインド(速報) ・独 9 月経常収支
11 日(月)	・9 月国際収支 ・9 月コア機械受注	
12 日(火)	・10 月マネーストック(M2) ・10 月マネーストック(M3)	・独 11 月 ZEW 景気期待指数 ・ユーロ圏 11 月 ZEW 景気期待指数
13 日(水)	・10 月国内企業物価指数	・米 10 月 CPI ・独 10 月 CPI(確報)
14 日(木)	・7～9 月四半期 GDP(季節調整後/速報)	・米 10 月 PPI ・独 6～9 月四半期 GDP(季節調整後/速報)
15 日(金)	・9 月鉱工業生産(確報)	・米 11 月ニューヨーク連銀製造業景気指数 ・米 10 月輸出/輸入物価指数

【当面の主要行事日程(2019 年 11 月～)】

日銀金融政策決定会合(12 月 18～19 日、1 月 20～21 日、3 月 18～19 日)

ECB 政策理事会(12 月 12 日、1 月 23 日、3 月 12 日)

米 FOMC(12 月 10～11 日、1 月 28～29 日、3 月 17～18 日)

市場営業部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌 大輔(TEL:03-3242-7065)

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2019年11月1日	週末版
2019年10月30日	ラガルド新ECB総裁を巡る3つの論点
2019年10月29日	円安リスクの点検～欧州・中国の復調はあるか？～
2019年10月28日	ドラギ総裁最後のECB理事会～危機の「生き字引」～
2019年10月25日	週末版
2019年10月24日	またも史上最小値幅～体感「5円」以下という異例～
2019年10月23日	「リブラ」阻止で一致するG20～サッカーバグ証言を前に～
2019年10月21日	思い出したい「10月31日」の経緯～次に起こることは～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2019年9月分）
2019年10月18日	週末版（2度目の離脱協定案合意～3つの論点を整理～）
2019年10月16日	FRBのTB購入を受けて～欲しかった「ずる賢さ」～
2019年10月11日	週末版（ECB政策理事会議事要旨を受けて～議論紛糾の読み方、議事要旨としては秀逸～）
2019年10月10日	円相場の需給環境について～縮小均衡～
2019年10月9日	FRBの資産購入再開と懐かしソロスチャート
2019年10月8日	揺らぐリブラ計画～初のメンバー脱退表明を受けて～
2019年10月7日	米9月雇用統計を受けて～「思ったより悪くない」の危うさ～
2019年10月4日	週末版（製造業から非製造業への波及は始まったのか～ISM景気指数の悪化を受けて～）
2019年10月3日	ユーロ圏の物価情勢の現状と展望～日本化の過渡期？～
2019年10月2日	ISM製造業景気指数の「底」は見えそうか？
2019年9月27日	週末版（三度起こった「ドイツの乱」～ラウテンシュレガーECB理事辞任の読み方～）
2019年9月26日	円安リスクの点検～財政政策というアップサイドリスク～
2019年9月25日	為替相場の現状を概観する～REERを通して見えること～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2019年8月分）
2019年9月24日	「羊頭狗肉」化するマイナス金利政策
2019年9月20日	週末版（日米金融政策決定会合を受けて～9月乗り切るも日銀の難局は続く～）
2019年9月17日	「原油高＆円安」が重荷になる日本経済
2019年9月13日	週末版（ECB政策理事会レビュー～出尽くし懸念強まるパッケージ緩和～）
2019年9月11日	均衡イメージが変わらない円の基礎的需給環境
2019年9月10日	日銀会合プレビュー～9月の一手と利下げの行方～
2019年9月6日	週末版（ECB政策理事会レビュー～APP再開は困難だが、露払いはしたいところ～）
2019年9月5日	ブレグジットを巡る論点整理～ポンド/ドルは1.20割れ定着か～
2019年9月4日	米企業心理とドル相場の関係～ISM悪化を受けて～
2019年9月3日	リブラを全否定したメルシュ講演～不安はどこに～
2019年9月2日	消えない米国のドル売り介入観測について～諸刃の剣～
2019年8月30日	週末版
2019年8月29日	ユーロ圏投資ファンド統計に見るポートフォリオバランス効果
2019年8月27日	円安リスクの点検～警戒すべきトランプ減税第二弾～
2019年8月26日	円高・ドル高という地合い～105円割れを受けて～
2019年8月23日	週末版（ECB政策理事会議事要旨を受けて～9月のパッケージ緩和が濃厚に？～）
2019年8月22日	FOMC議事要旨を受けて～「調整」の誘惑、日銀の経験～
2019年8月21日	ドイツのISバランスは遂に変わるのか？
2019年8月20日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2019年7月分）
2019年8月19日	YCC、捨てる日銀と拾うECB
2019年8月16日	週末版（2019年上半期の対米証券投資について～下期以降の景色は大幅変わりそう～）
2019年8月15日	ドイツに引きずられるユーロ圏経済
2019年8月14日	中国の「次の一手」として米国債売却はあるのか？
2019年8月13日	ドル高止まりによる引き締め効果～利上げ17回分？～
2019年8月9日	週末版
2019年8月6日	遂に突破した「1ドル=7.0円」～対抗措置としての元安～
2019年8月5日	米7月雇用統計を受けて～趨勢的な鈍化は明らか～
2019年8月2日	週末版（何の意味もなかったパウエル議長の失言～トランプ関税とインフレ停滞も利下げの理由に～）
2019年8月1日	FOMCを終えて～「1歩譲れば100歩求める」～
2019年7月31日	日銀金融政策決定会合～流行りの「予防的緩和」～
2019年7月30日	円安リスクの点検～英の再国民投票復活などがリスク～
2019年7月29日	ECB政策理事会レビュー～見どころの整理～
2019年7月26日	週末版
2019年7月25日	リブラと金融政策～新興国と信用創造に対する影響～
2019年7月24日	「利下げに囲まれる日銀」と「通貨政策化が進む世界」
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2019年6月分）
2019年7月22日	ECB政策理事会プレビュー～「目標見直し」は大事業～
2019年7月19日	週末版（実質実効為替相場の現状と展望～「ドルは過大評価」とのIMF評価を受けて～）
2019年7月18日	本邦家計部門の金融リテラシーは低いのか？
2019年7月17日	欧米貿易摩擦こそ正当な貿易摩擦という考え方
2019年7月16日	株価を見なくなったドル/円相場と追い込まれる日銀
2019年7月12日	週末版
2019年7月5日	週末版
2019年7月3日	ラガルドECB総裁就任の読み方
2019年7月2日	日銀短観の読み方～「底入れ」は確認できず～
2019年7月1日	大阪G20を終えて～円相場を駆動するのは株価ではなく金利～
2019年6月28日	週末版
2019年6月26日	円安リスクの点検～大統領選前にトランプは動くか～
2019年6月25日	対外資産・負債残高の近況～令和で経験する大きな変化～
2019年6月24日	利下げ期待とドル/円相場の関係～「98年型利下げ」としても～
2019年6月21日	週末版（日銀金融政策決定会合を終えて～「ドル高の修正」という大きな潮流～）
2019年6月20日	FOMCを終えて～「鏡に映った自分」に怒り続ける大統領～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2019年5月分）
2019年6月19日	為替市場と金利市場の期待格差について
2019年6月14日	週末版（日銀金融政策決定会合プレビュー～サプライズがあるとするならば……～）
2019年6月13日	厳しい緩和競争が予想される日欧中銀
2019年6月12日	FRBと金融市場の「接待関係」は持続可能なのか？
2019年6月11日	ユーロ高を警戒し始めたECB～通貨安欲しさに利下げ？～
2019年6月10日	利下げを促す米雇用・賃金情勢～6月利下げも？～
2019年6月7日	週末版（ECB政策理事会を終えて～シントラから2年で振り出しに戻ったECB～）
2019年6月6日	次のカタリストとしての中国の外貨準備
2019年6月5日	虚しい「フォワードルッキングな政策運営」
2019年6月4日	ECB政策理事会プレビュー～TLTRO3詳細発表へ～
2019年6月3日	「利下げタイミングを当てるゲーム」が始まりそう
2019年5月31日	週末版
2019年5月29日	米為替政策報告書を受けて～ドル高への不満も～
2019年5月28日	円安リスクの点検～円高リスク高まった5月～
2019年5月27日	ECB政策理事会議事要旨～表える基本シナリオの信認～